

昭和 62 年度事務および事業報告

1. 会 員

名誉員、正員、准員、学生員、 賛助員の異動

	名誉員	正員	准員	学生員	賛助員	合計
入会	+	1240	+341	+396	+0	+1977
正員→ 名誉員	+4	-4	-	-	-	-
正員→ 准員	-	-1	+1	-	-	-
正員→ 学生員	-	-0	-	+0	-	-
准員→ 正員	-	+561	-561	-	-	-
准員→ 学生員	-	-	-4	+4	-	-
学生→ 正員	-	+0	-	-0	-	-
学生→ 准員	-	-	+291	-291	-	-
退 会	-	-834	-75	-23	-	-932
死 亡	-3	-59	-1	-0	-	-63
除 籍	-	-328	-17	-0	-	-345
復 活	-	+28	+0	+0	-	+28
差 引	+1	+603	-25	+86	+0	+665

事業維持員の異動

	社数	口数	社数	口数
入 会	25	57	口数減少	5
退 会	28	69	期末現在	615
口数増加	1	7		3454

期末支部別会員数

	名誉員	正員	准員	学生員	賛助員	合計
東京支部	21	11,796	395	249	0	12,461
関西 "	2	3,610	148	67	0	3,827
九州 "	0	1,257	86	21	0	1,364
東北 "	1	674	28	7	0	710
東海 "	3	2,371	242	164	0	2,780
中国 "	1	705	69	29	0	804
北海道 "	0	413	33	8	0	454
北陸 "	0	458	33	9	0	500
四国 "	0	381	42	11	0	434
合 計	28	21,665	1,076	565	0	23,334

備考 東京支部会員のうち茨城支所所属
会員は正員 1,699 名、准員 12 名、学
生員 5 名、新潟支所所属会員は正員

161 名、准員 26 名、学生員 22 名で
ある。また九州支部会員のうち沖縄
支所所属会員は正員 46 名、准員 6
名、学生員 1 名である。

2. 会合数

本期間における諸会合数は
1,788 回で、前期 1,628 回に比
べ 160 回増加した。

通常総会 1 回 1,304 回
評議員会（理事会合同会議 1 回
を含む） 4 回
理事会（評議員会合同会議 1 回
を含む） 10 回
支部長・支部幹事会 1 回
業務監査 1 回
会計監査 1 回
元会長・副会長 1 回
広告改善委員会 4 回
賞関係委員会（功績者選定本委
員会 1 回、同幹事会 1 回、進
歩賞特別委員会 1 回、論文賞
特別委員会 1 回、桜井資金選
考委員会 1 回を含む） 5 回
大会関係委員会（常置連合大会
企画委員会 5 回、全国大会委
員会 3 回を含む） 8 回
編修会関係委員会（編修幹事会
12 回、編修企画委員会 3 回、
同幹事会 9 回、同分科会 1 回、
論文委員会 12 回、学界時報委
員会 12 回、ニュース委員会
12 回、編修幹事引継会 1 回）
62 回
電気工学ハンドブック改版委員
会 5 回
電気規格調査会関係委員会（電
気規格調査会総会 1 回、電気

規格役員会 4 回、常置委員会
13 回、標準特別委員会 41 回、
同小委員会 65 回、IEC 国内委
員会 108 回） 232 回
調査研究関係委員会（運営委員
会 12 回、技術委員会 170 回、
専門委員会 906 回、同委員会
40 回、研究会 176 回）
部門制検討委員会 4 回
拡大幹事会 3 回
電子・情報・システム部門関係
委員会（特別委員会 4 回、部
門誌 WG 12 回、会員拡大
WG 2 回を含む） 18 回
産業応用部門関係委員会（特別
委員会 4 回、部門誌 WG 4
回、部門誌（幹事会）WG 12
回、会員拡大 WG 幹事会 2
回、部門全国大会関係委員会
15 回を含む） 37 回
部門会計・WG 合同連絡会
3 回
創立 100 周年記念事業関係委員
会（実行委員会 2 回、同幹事
会 4 回、式典祝賀会部会 5 回、
同幹事会 9 回、展示会部会 5
回、同幹事会 4 回、記録部会
4 回、同打合会 1 回、国際交
流・学術振興部会 2 回、同幹
事会 2 回、同打合会 1 回、事
務所等拡充整備部会 3 回、同
幹事会 1 回を含む） 43 回
創立 100 周年記念募金実行委員
会 4 回
創立 100 周年記念出版委員会
1 回

3. 規程の改正

昭和 62 年電気・情報関連学会連合大会規程 (11 月) を下記のとおりに改正した。

共催→共同主催

電子通信学会→電子情報通信学会
とし、

第 3 条 (1 ページ下から 9 行目)

ならびに日本学術会議

第 5 条 (2 ページ 1 行目～3 行目)

および日本学術会議電気工学、電子・通信工学、情報工学各研究連絡委員会から選出した若干名の連絡委員を追加した。

4. 部門制の試行

60 年度より開始された部門制試行は着実に進行し、予定通り 62 年 1 月より電子・情報・システム、および産業応用両部門誌の発行を見た。

論文誌の掲載ページは下記のとおりである。前年度に比べ総ページ数が大幅に増加した。

	61年	62年	増減
論文誌 A	677	580	-97
(基礎・材料・共通)			
論文誌 B	1,032	640	-392
(電力・エネルギー)			
論文誌 C	569	1,124	+555
(電子・情報・システム)			
論文誌 D	455	1,520	+1,065
(産業応用)			

2,733 3,864 +1,131

調査研究活動面でも電子・情報・システム部門 9 技術委員会、産業応用部門 10 技術委員会が活動している。

これらの学会活動活性化と共

に、並行して進められている会員拡大運動の成果と合せて、63 年度に基礎・材料・共通部門、電力・エネルギー部門の試行準備に着手して以後本格的な部門制を移行するため検討することとなった。

5. 電気学会創立 100 周年記念事業

昭和 60 年から進められた 10 億円を目標とする募金活動は、63 年 3 月末現在、法人 880 社 9 億 490 万円、個人 7,373 名 1 億 485 万円、計 10 億 5,395 万円の申し込みを受けた。

記念事業については、事業実行委員会で計画が進められていたが、本年 5 月 12 日記念特別講演、記念式典、記念祝賀会の開催を内定した。また、昨年 63 年電気学会全国大会を記念全国大会とすることや、展示会として未来を招く電気 100 年をテーマに東京都北の丸公園科学技術館において昭和 63 年 3 月 31 日より 4 月 3 日まで開催した。

6. 功績者の表彰

昭和 62 年 5 月 28 日第 75 回通常総会において、次の諸君に賞状、賞牌および賞金を贈呈した。

- 第 25 回電気学会功績賞
関口 忠(東 大)
- 第 36 回電力賞(福田節雄賞付)
中田満夫(九州 電)
- 同(福田節雄賞付)
横田 廣(中部 電)
- 第 43 回電気学術振興賞
進歩賞(福田節雄賞付)
能登宏七(東北大)
星 彰(東北大)
大崎 治(東 芝)

進歩賞

- 秋山哲夫(関 電)
- 立花慶治(東 電)
- 菰田光治(中部 電)
- 緒方誠一(九州 電)
- 磯崎 孝(日本ガイシ)
- 同 小林道夫(東 電)
- 飯野敏雄(東 電)
- 佐藤顕生(東 電)
- 同 伊藤 登(新エネ機構)
- 清水雅之(関 電)
- 横田俊一(東 芝)
- 同 近藤育朗(原 研)
- 木村豊秋(原 研)
- 村井勝治(日 立)
- 同 坂本友男(富士電機)
- 藤本匡昭(富士電機)
- 伊東 明(富士電機)
- 論文賞(福田節雄賞付)
石川正弘(東 電)
- 原 築志(東 電)
- 小海 裕(日 立)
- 真鳥岩男(日 立)
- 荒井純一(東 芝)
- 関根泰次(東 大)
- 論文賞 北村洋一(三菱電機)
- 平林庄司(三菱電機)
- 同 深尾 正(東工大)
- 松井幹彦(東工大)
- 山下和男(東工大)
- 同 森 欣司(日 立)
- 宮本捷二(日 立)
- 井原廣一(日 立)
- 同 小貫 天(早 大)
- 吉野 研(早 大)
- 柳 志潤(早 大)
- 同 福井千尋(日 立)
- 渡部篤美(日 立)
- 佐野和汪(日 立)
- 山越幸成(東 電)
- 大浦好文(東 電)
- 松沢邦夫(東 電)
- 著作賞(福田節雄賞付)
黒川浩助(電 総 研)

7. 国際交流

(1) 本会と大韓電気学会との技術者交流協定により昭和62年7月大韓電気学会学術講演に招請を受け下記の方が出席し講演を行った。

山中会長
田村副会長
曾根編修理事

(2) 本会と中国電機工程学会との技術交流協定により昭和62年4月全国大会に下記の方を招請した。

温 克 昌
中国電機工程学会秘書長
刘 幼 菴
中国電機工程学会副秘書長
孫 景 明
中国電機工程学会教育部長
曲 明 備
中国水利電力部技師

8. 大会

昭和62年本会全国大会は4月1日から4日まで東北大学教養部、昭和62年電気・情報関係学会連合大会は9月10日から12日まで工学院大学(東京新宿)で行なわれた。また本会昭和62年産業応用部門全国大会(第1回)を8月27日から29日にかけて国立京都国際会館で開催した。前26日はチュートリアルコースを行った。各支部においては、8月から11月にかけて、それぞれ支部大会を開催した。発表された一般講演数は次表のとおりである。

	61年	62年	増減
全国大会	1,489	1,581	+92
連合大会	227	230	+3
産業応用部門大会	0	175	+175
東京支部大会	0	0	0
関西 "	485	514	+29
九州 "	575	527	-48

東北 "	351	353	+2
東海 "	616	600	-16
中国 "	227	280	+53
北海道 "	271	289	+18
北陸 "	201	255	+54
四国 "	170	218	+48
合計	4,612	5,022	+410

備考(1) 全国大会は一般講演の他にシンポジウム16課題111講演があった。

(2) 支部大会は、電気関係学会支部と連合で開催した。

(3) 東京支部は支部大会を中止し、これに代わるものとして連合研究会を本部技術委員会と共催で開催した。研究会発表件数は79件であった。

(4) 関西支部の514件はシンポジウム14課題, 104件を含み、電気学会担当の一般講演は254件であった。

9. 講演会・講習会および見学会

本期間には178回開催し、昨年の162回に比べ16回増加した。

	講演会	講習会	見学会	合計
本 部	0	0	0	0
東京支部	12	5	10	27
茨城支所	2	0	1	3
新潟支所	6	0	1	7
関西支部	4	2	2	8
九州 "	15	2	0	17
沖縄支所	1	0	0	1
東北支部	21	1	1	23
東海 "	13	2	2	17
中国 "	22	1	3	26
北海道 "	19	1	2	22
北陸 "	9	1	1	11
四国 "	15	0	1	16
合計	139	15	24	178

備考(1) 東京支部は学生向け講演会5回、見学会1回を含む。

(2) 東海支部は他に若手セミナーを24回(7テーマ)開催。

10. 国際会議の開催

本会と(財)国際科学振興財団との共催で、第4回固体センサ国際会議(Transducer'87)が、6月2日～5日に東京で開催された。本国際会議は、発表論文数が192件(外国からの発表119件)、参加者が611名(外国からは、15ヶ国より259名)の

多きに達し、非常に盛会裡であった。

11. 桜井資金による海外派遣者

昭和62年度中に開催された電力技術関係国際会議に、桜井資金により派遣された出席者は次の通りである。

伊坂勝生(徳島大):50/60へ
ルツ電磁界の生物学的影響

に関する国際会議

佐藤康宏(電総研):第12回
核融合技術に関するシンポジウム

松本隆宇(静岡大):第5回高
電圧国際会議

12. 雑誌・論文誌

本期間中に発行した雑誌と論文誌は次のごとくである。

雑誌の総ページ数は2,472ページで、前期より324ページ減になった。なお、2,472ページには100周年関係135ページが含まれる。また、論文誌の総ページ数は3,864ページで前期より1,080ページ増になった。

英文論文誌(TIEE of Japan)は6冊発行(107巻1/2号～11/12号)し、ページ数は288ページで前期より、42ページ増になった。

雑 誌

巻・号	年・月	発行年月日	本文ページ数	広告ページ数
107-4	62・4	62・4・20	142	36
5	5	5・20	190.5	49.5
6	6	6・19	168	36
7	7	7・20	185.5	72.5
8	8	8・20	139	33
9	9	9・21	139.5	40.5
10	10	10・20	191.5	38.5
11	11	11・19	175.5	50.5
12	12	12・21	195.5	36.5
108-1	63・1	63・1・20	135	77
2	2	2・20	133	37
3	3	3・22	120	50
合計			1,915	557

論文誌

巻・号	年・月	発行年月日	本文ページ数	広告ページ数
107・A・4	62・4	62・4・20	59	1
B・4	〃	〃	51	1
C・4	〃	〃	102	2
D・4	〃	〃	125	1
107・A・5	62・5	62・5・20	55	1
B・5	〃	〃	51	1
C・5	〃	〃	86	2
D・5	〃	〃	127	1
107・A・6	62・6	62・6・19	51	1
B・6	〃	〃	67	1
C・6	〃	〃	114	2
D・6	〃	〃	135	1
107・A・7	62・7	62・7・20	51	1
B・7	〃	〃	43	1
C・7	〃	〃	98	2
D・7	〃	〃	137	1
107・A・8	62・8	62・8・20	39	1
B・8	〃	〃	55	1
C・8	〃	〃	90	2
D・8	〃	〃	131	1
107・A・9	62・9	62・9・21	47	1
B・9	〃	〃	55	1
C・9	〃	〃	86	2
D・9	〃	〃	115	1
107・A・10	62・10	62・10・20	35	1
B・10	〃	〃	55	1
C・10	〃	〃	102	2
D・10	〃	〃	111	1
107・A・11	62・11	62・11・19	51	1
B・11	〃	〃	51	1
C・11	〃	〃	110	2
D・11	〃	〃	131	1
107・A・12	62・12	62・12・21	43	1
B・12	〃	〃	51	1
C・12	〃	〃	82	2
D・12	〃	〃	131	1
108・A・1	63・1	63・1・20	47	1
B・1	〃	〃	59	1
C・1	〃	〃	98	2
D・1	〃	〃	106	2
108・A・2	63・2	63・2・20	39	1
B・2	〃	〃	43	1
C・2	〃	〃	66	2
D・2	〃	〃	102	2
108・A・3	63・3	63・3・19	51	1
B・3	〃	〃	47	1
C・3	〃	〃	66	2
D・3	〃	〃	154	2
合計			3,801	63

注：本文ページ数は、表紙、特集解説、著者紹介などを含む。

英文論文誌 (Trans. IEE of Japan)

巻・号	年・月	発行年月日	本文ページ数	広告ページ数
107・1/2	62・1/2	62・5・30	45	1
3/4	3/4	8・25	45	1
5/6	5/6	10・29	39	1

7/8	7/8	63・1・12	45	1	
9/10	9/10	2・17	53	1	
11/12	11/12	3・24	55	1	
合計				282	6

注：本文ページ数はアブストラクト、表紙を含む。

雑誌の内容とページ数

内 容	前期	本期
寄書・随想・論説・巻頭	12	5
講演	36	17
技術総説	0	0
特集	168	160
小特集	236	166
解説	104	126
ミニ解説	60	89
座談会・討議	12	12
技術レポート	48	26
特許解説	0	0
学生欄	36	36
会員の声(寄書)	0	0
学 界 時 報	136	187
大会記事	4	4
ニュース	29	25.5
本会・調査委員会記事	142	157
論文概要	104	131
著者紹介	31	30.5
目次・会告	473	473
巻 目 次	34	54
そ の 他	63.5	81
D 分 冊 合 冊	458	0
小 計	2,186.5	1,780
広 告	528.5	557
100周年記事	81	135
合 計	2,796	2,472

論文誌の内容とページ数

内 容	論文研究開発ノート	特集解説部門記事	その他	計
A	499	0	81	580
B	560	0	80	640
C	665	359	100	1,124
D	1,126	279	115	1,520
計	2,850	638	376	3,864

注：その他は表紙、広告、著者紹介などである。

英文論文誌の内容とページ数

内 容	Paper	Letter	Abstract	その他	計
ページ数	88	2	148	50	288

注：その他は表紙、広告、著者紹介などである。

13. Electrical Engineering in Japan

本会論文英訳誌 (Electrical Engineering in Japan, アメリカ Scripta Technica, Inc.出版)

は、本期中7冊 (Vol. 106, No. 4, 1986~Vol. 107, No. 4, 1987) 発行された。

14. 技術報告

本期間中に次の28冊(33件)を発行した。

部	号	件	ページ	発行年月
I	144	2	75	62-6
	145	2	70	62-8
	146	2	46	62-8
	147	2	74	62-10
II	148	2	76	63-3
	246	1	77	62-4
	247	1	81	62-5
	248	1	76	62-5
	249	1	70	62-6
	250	1	54	62-6
	251	1	65	62-6
	252	1	68	62-6
	253	1	59	62-7
	254	1	59	62-7
	255	1	82	62-8
	256	1	83	62-8
	257	1	82	62-9
	258	1	74	62-10
	259	1	66	62-11
	260	1	98	63-1
	261	1	106	63-1
	262	1	66	63-1
	263	1	151	63-2
	264	1	76	63-2
	265	1	117	63-2
	266	1	92	63-3
	267	1	103	63-3
	268	1	118	63-3

〔I部〕

144号 光・熱磁気記録の現状；直流機の許容過渡電流変化率について最近の直流機の技術動向「1982~1985」

145号 デジタルシグナルプロセッサの現状；強電分野教育の現状と問題点

146号 電気・電子標準と校正システム；表面・界面評価技術

147号 無人化工場における最近の技術動向；高電圧用波高電圧計性能基準

148号 光デバイス集積化研究開発動向；原子力発電所の運転システム

〔II部〕

- 246号 水力発電所の設備障害に関する調査研究
- 247号 パルスパワー技術とそのフラッシュエネルギーへの応用
- 248号 気体絶縁への混合ガスの応用
- 249号 自己消弧形電力用半導体素子の動向
- 250号 MHD発電システムの研究開発の現状
- 251号 電気車の交流電動機駆動・インバータ制御方式
- 252号 精密周波数の応用技術
- 253号 メモリシステム技術とその動向
- 254号 光タイムドメイン応用技術の現状と将来
- 255号 クリーンルームと微粒子計測技術
- 256号 大学・企業における集積回路教育の現状と展望
- 257号 リソグラフィ用線源・装置の技術動向
- 258号 交直連系システムの動特性
- 259号 真空遮断器の大容量化とその基礎技術
- 260号 極低温絶縁技術
- 261号 太陽エネルギー利用システムの現状と将来
- 262号 山岳地送電線の着氷現象
- 263号 コージェネレーションシステム
- 264号 レーザ加工装置応用の現状と課題
- 265号 システム評価の技術とその応用
- 266号 特別高圧CVケーブルの設備実態と絶縁診断技術の動向
- 267号 特別高圧回転機・ケーブルの絶縁劣化診断技術
- 268号 有機機性能・絶縁性材料の現状と発展方向

15. 出 版

- 電気規格調査会標準規格 (JEC)
- 〈新刊〉
- 5918(1987) 電力通信用電源装置 (その2) インバータ
- 〈改訂〉
- 2330(1986) 電力ヒューズ
- 5913(1987) 電力線搬送用ライントラップ (ブロックキングコイル)
- 7132(1987) 電気鉄道車両用補助回転機
- 刊行図書
- 〈新刊〉
- 電気工学ハンドブック
- 〈重版〉
- リニアモータとその応用
- 英文 JEC-37・INDUCTION MACHINES

16. 図書室

	前期	本期
閲覧者数	20名	16名
複写申込者数	251名	389名
複写申込件数	578件	453件
複写枚数	2,869枚	2,010枚

17. 電気規格調査会

- 1. JECの改訂
- (1) JEC-2220 負荷時タップ切替装置(63-2)…JEC-186(1972)の改訂
- (2) JEC-2500 電力用保護継電器(62-9)…JEC-174(1979)の改訂
- (3) JEC-7132 電気鉄道車両用補助回転機(62-9)…JEC-132(1954)の改訂
- 2. 調査を終了した項目 (電気用語標準特別委員会)
- 1. 専門用語集「送電線路」
- 2. 専門用語集「エネルギー変換」
- 3. 専門用語集「電磁気」

(保護継電器標準特別委員会)

- 1. JEC-174「電力用保護継電器」(改訂案)

(変換装置標準特別委員会)

- 1. JEC-188「サイリスタ変換装置」(改訂案)
- 2. JEC-178「半導体整流装置」(その2)(改訂案)
- 3. JEC-ターンオフサイリスタ(制定案)

(負荷時タップ切替装置標準特別委員会)

- 1. JEC-186「負荷時タップ切替装置」(改訂案)

(高電圧試験標準特別委員会)

- 1. JEC-170「交流電圧絶縁試験一般」(改訂案)
- 2. JEC-200「静止誘導機器インパルス電圧試験」(改訂案)

3. IEC文書審議

昭和62年度の審議状況は、次のとおりである。

委員会名		CO文書	S文書
TC1	用語	13	13
TC2	回転機		9
SC2A	タービン発電機		2
SC2G	試験方法		2
SC2J	回転機械の絶縁方法の分類	2	
TC3	図記号		1
SC3A	ダイヤグラム用図記号	6	12
SC3B	ダイヤグラム、チャート、テーブルの作成	1	3
SC3C	装置用図記号	5	6
TC4	水車	4	
TC8	標準電圧・電流定格および周波数		1
TC9	輸送用電気設備	2	3
TC10	電気用流体	4	5
SC10A	鉱物系絶縁油	4	2
SC10B	合成絶縁油	2	3
SC10C	絶縁ガス		
TC11	架空送電線路		6
TC13	電力量計測・負荷制御装置		1
TC14	電力用変圧器	1	
SC14B	負荷時タップ切替器		
SC14C	リアクトル		

SC 14 D	小形特殊電力変圧器	1	1
TC 15	絶縁材料		1
SC 15 A	短時間試験		3
SC 15 B	耐久試験	3	3
SC 15 C	仕様	4	18
TC 16	端子記号	3	
TC 17	スイッチギヤ及びコントロールギヤ		
SC 17 A	高圧用スイッチギヤ及びコントロールギヤ		9
TC 22	電力用電子機器		
SC 22 B	半導体変換装置		
SC 22 D	電鉄用変換装置		
SC 22 E	安定化電源	1	1
SC 22 F	高圧直流送電用変換装置		1
SC 22 G	電動機駆動用変換装置		
TC 25	量・単位ならびにその文字記号	4	4
TC 27	工業用電気加熱装置	1	4
TC 28	絶縁協調		2
SC 28 A	低圧機器の絶縁協調	2	4
TC 32	ヒューズ		1
SC 32 A	高圧ヒューズ		3
SC 32 B	低圧ヒューズ		
SC 32 C	ミニアチュアヒューズ	3	
TC 33	電力用コンデンサ		2
TC 36	がいし		3
SC 36 A	ブッシング		
SC 36 B	架空線用がいし		
SC 36 C	変電所用がいし	1	
TC 37	避雷器		4
TC 38	計器用変圧器		3
TC 41	保護継電器		
SC 41 A	検出継電器		3
SC 41 B	補助継電器	1	3
TC 42	高電圧試験	1	
TC 57	電力線搬送およびテレコン設備	5	8
TC 63	絶縁方式	1	6
TC 66	電子測定装置		
SC 66 A	ゼネレータ		
SC 66 B	オシロスコープ		
SC 66 C	ブリッジおよびメータ		
SC 66 E	計測・制御および関連機器の安全性		1
TC 68	磁性合金および磁性鋼	1	5
TC 73	短絡電流とその熱的・機械的影響	1	
TC 77	電気機器（ネットワークを含む）間の電気磁氣的相互交換性	2	2

SC 77 A	商用低電圧配電系統に接続される装置	1	3
SC 77 B	産業用配電系統および機器		5

TC 78	活線作業用工具および設備		3
TC 85	基本電気計測器	2	1
合計		82	176

4. IEC 会議出席者

昭和 62 年度中に開催された TC, SC に日本代表として出席された諸君は次表のとおりである。

委員会名	内 容	開催地	期 日	出 席 者
TC 1	用 語	Prague (Czechoslovakia)	1987. 7. 9 ～ 7. 10	荒川泰彦 (東大)
TC 3 SC 3 B SC 3 C	図記号 ダイヤグラム, チャート, テーブルの作成 装置用図記号	Bern (Switzerland)	1988. 2. 29 ～ 3. 8	荒木庸夫 (帝京技科大)
SC 15 C	仕 様	San Francisco (U. S. A)	1987. 9. 22 ～ 9. 25	日野太郎 (東工大)
TC 17 SC 17 A	スイッチギヤ及びコントロールギヤ 高圧用スイッチギヤ及びコントロールギヤ	Helsinki (Finland)	1987. 10. 5 ～ 10. 9	萩森英一 (東芝) 中田 哲 (明電舎)
SC 22 F	高圧直流送電用変換装置	Pisa (Italy)	1987. 6. 24 ～ 6. 26	大井 寿 (電源開発)
TC 28	絶縁協調	Sydney (Australia)	1987. 9. 28 ～ 10. 3	川口芳弘 (東芝)
SC 32 C	ミニアチュアヒューズ	Prague (Czechoslovakia)	1987. 7. 13 ～ 7. 15	広瀬淳雄 (東京電機大) 岩本 哲 (S. O. C)
TC 38	計器用変圧器	Vienna (Austria)	1987. 9. 9 ～ 9. 10	黒田 毅 (日電検) 池田三穂司 (大崎電気)
TC 41 SC 41 A SC 41 B	保護継電器 検出継電器 補助継電器	Prague (Czechoslovakia)	1987. 7. 15 ～ 7. 17	抜山 誠 (日立) 近藤良太郎 (東芝) 富田泰夫 (大興電機)
TC 42	高電圧試験	Sydney (Australia)	1987. 9. 28 ～ 10. 1	村野 稔 (工学院大) 川口芳弘 (東芝)
TC 57	電力線搬送およびテレコン設備	Rome (Italy)	1987. 9. 8 ～ 9. 9	三谷 泉 (東芝) 番匠行雄 (電源開発)

5. 調査中の項目

(電気用語標準特別委員会)

1. 専門用語集「回転機」
2. 専門用語集「電力用保護継電器」
3. 専門用語集「電気鉄道」
4. 専門用語集「放射線」
5. 専門用語集「電気加熱」
6. 専門用語集「非線形磁気応用機器」

(静止誘導機器標準特別委員会)

1. JEC-182「リアクトル」(改訂案)

(避雷器標準特別委員会)

1. JEC-217「酸化亜鉛形避雷器」(英文版)

(保護継電器標準特別委員会)

1. JEC-174 A「過電流継電器」

(改訂案)

2. JEC-距離継電器 (制定案)

(変換装置標準特別委員会)

1. JEC-無停電電源装置用スイッチ (制定案)

(しゃ断器標準特別委員会)

1. JEC-196「断路器」(改訂案)
- (回転電気機械一般標準特別委員会)

1. JEC-146「回転電気機械一般」(改訂案)

(水車およびポンプ水車標準特別委員会)

1. JEC-151「水車」(改訂案)

2. JEC-177「ポンプ水車」(改訂案)

(電力用通信設備標準特別委員会)

- 1. 電力通信用電源装置（その
3）UPS（制定案）
（配電電圧標準特別委員会）
- 1. JEC-158「標準電圧」（改訂
案）
（高電圧試験標準特別委員会）
- 1. JEC-195「部分放電測定一
般」（改訂案）
（電気絶縁材料の絶縁抵抗試験
方法通則標準特別委員会）
- 1. JEC-148「電気絶縁材料の
絶縁抵抗試験方法通則」（改
訂案）
（電気絶縁材料の誘電正接およ
び誘電率試験方法標準特別委
員会）
- 1. JEC-150「電気絶縁材料の
誘電正接および誘電率試験
方法通則」（改訂案）
（電力ケーブル用防食層標準特
別委員会）
- 1. JEC-159「電力ケーブル用
防食層」（改訂案）

18. 調査研究委員会

1. 新設した委員会

- (1) 生体を対象とした光応用技
術調査専門委員会（62-5）
- (2) 視覚応用光情報処理技術調
査専門委員会（62-5）
- (3) 半導体用金属材料調査専門
委員会（62-5）
- (4) 薄体軟磁性材料調査専門委
員会（62-5）
- (5) ケーブル系統におけるサー
ジ現象調査専門委員会（62
-5）
- (6) 変電機器劣化試験法調査専
門委員会（62-5）
- (7) ワイドギャップ半導体材料
調査専門委員会（62-5）
- (8) 超薄膜電子材料調査専門委
員会（62-5）
- (9) マイクロ波・ミリ波デバイ
スとその応用調査専門委員
会（62-5）

- (10) 電力系統のエキスパートシ
ステム調査専門委員会（62
-5）
- (11) 目視検査の自動化調査専門
委員会（62-5）
- (12) 非常用電気設備の点検シス
テム調査専門委員会（62-5）
- (13) 電気設備診断・更新技術調
査専門委員会（62-5）
- (14) 産業におけるユーティリテ
ィ管理技術調査専門委員会
（62-5）
- (15) インテリジェントビルの電
気設備調査専門委員会（62
-5）
- (16) 現代制御理論の産業電力電
気分野への応用動向調査専
門委員会（62-5）
- (17) プラント設備におけるライ
フサイクルコスト最適化技
術調査専門委員会（62-5）
- (18) 生産設備診断技術の体系化
と AI 応用調査専門委員会
（62-5）
- (19) EWS（エンジニアリング・
ワークステーション）調査
専門委員会（62-5）
- (20) 絶縁材料エキスパートシス
テム調査専門委員会（62-9）
- (21) 誘電・絶縁材料計測技術調
査専門委員会（62-9）
- (22) 盤用遮断器の適用指針調査
専門委員会（62-9）
- (23) 極低温技術利用調査専門委
員会（62-9）
- (24) 高機能レーザー技術調査専門
委員会（62-9）
- (25) デジタル制御システムア
ーキテクチャ調査専門委員
会（62-9）
- (26) 同期電動機始動特性調査専
門委員会（62-9）
- (27) レーザ加工装置の新適用分
野調査専門委員会（62-9）
- (28) 家庭内電力利用調査専門委
員会（62-9）

- (29) 産業における非接触計測調
査専門委員会（62-9）
- (30) 産業用高信頼性制御システ
ム技術調査専門委員会（62
-9）
- (31) 非線形光学応用調査専門委
員会（62-12）
- (32) 原子力における次世代計測
調査専門委員会（62-12）
- (33) シミュレーション技術体系
化調査専門委員会（62-12）
- (34) 無停電電源装置調査専門委
員会（62-12）
- (35) デジタル制御の産業応用
調査専門委員会（62-12）
- (36) 超電導デバイス調査専門委
員会（63-3）
- (37) 超高速パルスの測定調査専
門委員会（63-3）
- (38) 運転中における電力設備の
絶縁劣化診断調査専門委員
会（63-3）
- (39) 有機超薄膜作製技術調査専
門委員会（63-3）
- (40) 電気・電子機器に使用され
るレアメタル調査専門委員
会（63-3）
- (41) 磁気工学におけるマイクロ
化技術調査専門委員会（63
-3）
- (42) 電磁型人工心臓調査専門委
員会（63-3）
- (43) 電力用コンデンサ設置調査
専門委員会（63-3）
- (44) 超電導応用電力機器調査専
門委員会（63-3）
- (45) 大容量遮断器の特殊遮断条
件調査専門委員会（63-3）
- (46) 受配電設備保護設計支援エ
キスパートシステム調査専
門委員会（63-3）
- (47) 超微細回路加工技術調査専
門委員会（63-3）
- (48) マイクロ EM 回路デバイ
ス調査専門委員会（63-3）
- (49) 高性能ハイブリッド回路調

査専門委員会 (63-3)

- (50) デジタル回路のアイソレーション技術調査専門委員会 (63-3)
- (51) 新世代 DSP 調査専門委員会 (63-3)
- (52) 産業プラント用電気設備の設計指針調査専門委員会 (63-3)
- (53) 同期機の仕様と設計調査専門委員会 (63-3)
- (54) 高効率薄膜太陽電池調査専門委員会 (63-3)
- (55) 工場電気設備高調波対策技術調査専門委員会 (63-3)
- (56) 産業情報ネットワーク調査専門委員会 (63-3)
- (57) リニアモータ解析手法調査専門委員会 (63-3)
- (58) 磁気浮上方式調査専門委員会 (63-3)

2. 解散した委員会

- (1) 電気・電子機器用急冷磁性材料調査専門委員会 (62-5)
- (2) マイクロ波装置調査専門委員会 (62-5)
- (3) 光デバイス集積化調査専門委員会 (62-5)
- (4) 集積化アナログ電子回路設計技術調査専門委員会 (62-5)
- (5) 回転機の解析理論調査専門委員会 (62-5)
- (6) 制御機器の機能高度化技術調査専門委員会 (62-5)
- (7) インテリジェントセンサシステム調査専門委員会 (62-9)
- (8) 電子絶縁材料調査専門委員会 (62-9)
- (9) 特別高圧回転機・ケーブル絶縁の劣化診断技術調査専門委員会 (62-9)
- (10) レーザ微細プロセス技術調査専門委員会 (62-9)
- (11) ジョセフソン・デバイス調

査専門委員会 (62-12)

- (12) 交直変換所における酸化亜鉛素子の適用調査専門委員会 (62-12)
- (13) 原子力計測システム調査専門委員会 (62-12)
- (14) エレクトロメカニカル回路技術調査専門委員会 (62-12)
- (15) 長ギャップ放電における空間電荷効果調査専門委員会 (63-3)
- (16) 非平衡プラズマの基礎過程調査専門委員会 (63-3)
- (17) 電気・電子計測器の耐ノイズ特性調査専門委員会 (63-3)
- (18) マイクロ磁気調査専門委員会 (63-3)
- (19) 超電導応用機器調査専門委員会 (63-3)
- (20) 電力用コンデンサ運用調査専門委員会 (63-3)
- (21) 過電流保護協調に関するエキスパートシステム導入調査専門委員会 (63-3)
- (22) 遮断器の信頼性と診断技術調査専門委員会 (63-3)
- (23) 熱電発電システム利用技術調査専門委員会 (63-3)
- (24) 配電系統調査専門委員会 (63-3)
- (25) 微細加工プロセス調査専門委員会 (63-3)
- (26) レーザ同位体分離調査専門委員会 (63-3)
- (27) 自由電子レーザ調査専門委員会 (63-3)
- (28) ハイブリッドデバイス設計・評価技術調査専門委員会 (63-3)
- (29) アナログ回路のアイソレーション技術調査専門委員会 (63-3)
- (30) デジタルシグナルプロセッサ応用システム調査専門

委員会 (63-3)

- (31) 高電圧直流電化方式調査専門委員会 (63-3)
- (32) 同期機の保護監視技術調査専門委員会 (63-3)
- (33) 薄膜太陽電池調査専門委員会 (63-3)
- (34) 工場電気設備技術調査専門委員会 (63-3)
- (35) メカトロニクス技術調査専門委員会 (63-3)

3. 調査を終了した項目

〔電気物理〕

(ジョセフソン・デバイス調査専門委員会)

- 1. ジョセフソン・デバイスの諸技術の研究, 開発の動向調査 (技報予定)

〔放電〕

(長ギャップ放電における空間電荷効果調査専門委員会)

- 1. 長ギャップ放電における空間電荷定量化 (技報予定)
- (非平衡プラズマの基礎過程調査専門委員会)

- 1. 非平衡プラズマの基礎過程 (技報予定)

〔計測〕

(インテリジェントセンサシステム調査専門委員会)

- 1. インテリジェントセンサシステムの現状と最適使用方法 (技報予定)

(電気・電子計測器の耐ノイズ特性調査専門委員会)

- 1. 電気・電子計測器に対するノイズ対策手法の体系化と耐ノイズ特性 (技報予定)

〔絶縁材料〕

(電子絶縁材料調査専門委員会)

- 1. 電子絶縁材料の特性改善と新機能の探索 (技報予定)
- (特別高圧回転機・ケーブル絶縁の劣化診断技術調査専門委員会)

- 1. 回転機・CV ケーブルの絶

緑技術・劣化現象・劣化診断技術（技報予定）

〔マグネティックス〕

（電気・電子機器用急冷磁性材料調査専門委員会）

1. 急冷法により作成された非晶質および結晶磁性体の基礎物性と電気電子機器への応用（62年3月開催のマグネティックス研究会で発表）

（マイクロ磁気調査専門委員会）

1. 磁気応用素子の超小形化，高速化，集積化（技報予定）

〔静止器〕

（超電導応用機器調査専門委員会）

1. 超電導応用機器の技術動向（技報予定）

（電力用コンデンサ運用調査専門委員会）

1. 静止形無効電力補償装置の実態と動向（技報予定）

〔開閉保護装置〕

（交直変換所における酸化亜鉛素子の適用調査専門委員会）

1. 交直変換所における過電圧保護用酸化亜鉛素子の適用法（技報予定）

（過電流保護協調に関するエキスパートシステム導入調査専門委員会）

1. 過電流保護協調のとれた開閉保護設備を設計するエキスパートシステム（技報予定）

（遮断器の信頼性と診断技術調査専門委員会）

1. 遮断器の信頼性と診断技術（技報予定）

〔新・省エネルギー〕

（熱電発電システム利用技術調査専門委員会）

1. 各種熱電発電システム利用技術（技報予定）

〔原子力〕

（原子力計測システム調査専門委員会）

1. 各種原子力プラントにおける放射線計測システム（技報予定）

〔電力〕

（配電系統調査専門委員会）

1. 配電系統の供給信頼度評価手法と事故時停電時間短縮化技術（技報予定）

〔電子デバイス〕

（マイクロ波装置調査専門委員会）

1. マイクロ波を利用した各種装置とそれに必要となる新デバイス（技報予定）

（微細加工プロセス調査専門委員会）

1. 高精度，高性能，高信頼性微細加工プロセス（技報予定）

〔光・量子デバイス〕

（光デバイス集積化調査専門委員会）

1. 光デバイス集積化のための研究開発課題（技報予定）

（レーザ微細プロセス技術調査専門委員会）

1. レーザ微細プロセス技術の基礎と応用（技報予定）

（レーザ同位体分離調査専門委員会）

1. レーザによる同位体分離技術（技報予定）

（自由電子レーザ調査専門委員会）

1. 自由電子レーザの発振技術および応用と周辺技術（単行本予定）

〔電子回路〕

（集積化アナログ電子回路設計技術調査専門委員会）

1. 電子計算機を用いた集積化アナログ電子回路（技報予定）

（エレクトロメカニカル回路技

術調査専門委員会）

1. エレクトロメカニカル回路の設計・製造技術（技報予定）

（ハイブリッドデバイス設計・評価技術調査専門委員会）

1. ハイブリッド・デバイスに関する設計技術，評価技術（技報予定）

（アナログ回路アイソレーション技術調査専門委員会）

1. アナログ回路の雑音に対するアイソレーション技術（技報予定）

（デジタルシグナルプロセッサ応用システム調査専門委員会）

1. DSP 応用システムおよびその構成技術（技報予定）

〔交通・電気鉄道〕

（高電圧直流電化方式調査専門委員会）

1. 直流電気鉄道における高電圧化（技報予定）

〔回転機〕

（回転機の解析理論調査専門委員会）

1. 交流機の新しい解析理論（技報予定）

（同期機の保護監視技術調査専門委員会）

1. 同期機の保護方式と異常診断方法（技報予定）

〔半導体電力変換〕

（薄膜太陽電池調査専門委員会）

1. 薄膜太陽電池の動向（技報予定）

〔産業電力電気応用〕

（工場電気設備技術調査専門委員会）

1. 工場電気設備への新技術導入（単行本予定）

〔産業計測制御〕

（制御機器の機能高度化技術調査専門委員会）

1. プログラマブルコントロー

ラを主体とした制御機器のアーキテクチャの動向(技報予定)

(メカトロニクス技術調査専門委員会)

1.メカトロニクスの現状と動向(技報予定)

4. 調査中の項目

[教育・研究]

(ソフトウェア教育調査専門委員会)

1.ソフトウェア教育のより優れた在り方

(先端技術教育・研究協力体制調査専門委員会)

1.先端技術の教育研究に関する産官学の協力体制

[放電]

(混合ガス絶縁の進歩調査専門委員会)

1.混合ガスの絶縁特性, 放電機構, 基礎パラメータ

(液体の絶縁破壊に及ぼす不均質因子の効果調査専門委員会)

1.液体の絶縁破壊に及ぼす添加物, 不純物さらに固体との複合系の影響

(酸素・窒素プラズマ反応とその応用調査専門委員会)

1.表面処理やオゾン生成に利用されている酸素・窒素プラズマの利用状況と新応用分野への展望

[光応用・視覚]

(赤外線応用技術調査専門委員会)

1.赤外線応用技術

(超微細加工光応用技術調査専門委員会)

1.光およびX線リソグラフィ技術の現状と将来動向

(生体を対象とした光応用技術調査専門委員会)

1.生体を対象とした光応用技術の現状および将来の方向性

(視覚応用光情報処理技術調査専門委員会)

1.視覚機能および視覚に基づく光情報処理技術

(非線形光学応用調査専門委員会)

1.非線形光学の応用技術

[計測]

(海洋計測技術調査専門委員会)

1.海洋計測技術の現状および将来動向

(極低温精密計測調査専門委員会)

1.極低温精密計測におけるデバイス, システム, 周辺技術ならびにそれらの応用

(新電子計測標準体制調査専門委員会)

1.電磁波領域の電子計測機器, 各種の多機能電子測定器の校正手法と精密評価手法

(あいまい量計測調査専門委員会)

1.あいまい量の定義, 分類, 取り扱い方

[絶縁材料]

(固体絶縁材料の電気伝導と絶縁破壊調査専門委員会)

1.固体絶縁材料の高電界電気物性の把握とその性能向上

(絶縁材料耐熱性短時間試験方法調査専門委員会)

1.発生気体測定による絶縁材料耐熱性の短時間試験方法

(耐放射性誘電・絶縁材料調査専門委員会)

1.複合環境下における誘電, 絶縁材料の耐放射線性

(絶縁材料耐トリートメント試験方法調査専門委員会)

1.絶縁材料の耐トリートメント試験方法の妥当性の検討

(固体絶縁材料の添加剤, 充填剤効果調査専門委員会)

1.固体絶縁材料の添加剤, 充

填剤効果

(誘電・絶縁新素材調査専門委員会)

1.誘電・絶縁新素材

(絶縁材料エキスパートシステム調査専門委員会)

1.絶縁材料分野におけるエキスパートシステム

(誘電・絶縁材料計測技術調査専門委員会)

1.誘電・絶縁材料の特性評価のための新しい技術

[金属材料]

(半導体用金属材料調査専門委員会)

1.半導体アッセンブリ工程で使用される金属材料のニーズ, シーズの動向

[マグネティックス]

(非線形磁気応用における解析手法調査専門委員会)

1.非線形磁気応用機器の特性と材料特性との関係の明確化

(希土類磁石の特性と応用調査専門委員会)

1.Nd-Fe-B系磁石の特性評価と応用開発

(磁気応用技術調査専門委員会)

1.高集積化電子装置における磁気応用技術

(光磁気記録技術調査専門委員会)

1.光磁気ディスクの要素技術および応用に関する研究開発の動向

(生体と磁気応用調査専門委員会)

1.生体と磁気応用に関する諸問題

(省エネルギー鉄心材料・応用技術調査専門委員会)

1.磁性材料の素材特性と機器特性の相関

(薄体軟磁性材料調査専門委員会)

1. 薄体軟磁性材料の製法および電気機器への応用
〔静止器〕
(変圧器予防保全調査専門委員会)

1. 変圧器予防保全技術
(渦電流場数値計算技術調査専門委員会)

1. 渦電流場の数値計算
〔開閉保護装置〕
(ガス絶縁開閉装置の絶縁技術調査専門委員会)

1. 断路器サージに対する GIS の絶縁諸問題
(最近の真空遮断器技術調査専門委員会)

1. 最近の真空遮断器の開発技術, 周辺応用技術
(盤用遮断器の適用指針調査専門委員会)

1. 盤用遮断器の特異性に関する諸問題, 技術動向
〔新・省エネルギー〕
(MHD 発電技術調査専門委員会)

1. MHD の発電技術の研究進展状況と開発計画
(燃料電池技術開発動向調査専門委員会)

1. 燃料電池の技術開発動向
(海洋・風力エネルギー利用技術調査専門委員会)

1. 間接太陽エネルギーとしての海洋・風力エネルギー利用技術
(太陽エネルギー技術利用調査専門委員会)

1. 太陽エネルギー利用システムの設計法, 運用法, 評価法
(コージェネレーション技術調査専門委員会)

1. 民生用コージェネレーションシステムの技術的評価
(極低温技術利用調査専門委員会)

1. 極低温技術利用
〔原子力〕
(核融合関連技術調査専門委員会)

1. 核融合研究と電気技術の関連
(原子力発電所人間機械系調査専門委員会)

1. 原子力発電所の安全性・信頼性向上
(原子力における次世代計測技術調査専門委員会)

1. 原子力における次世代計測技術
〔電線・ケーブル〕
(地中配電線技術動向調査専門委員会)

1. 地中配電用電力ケーブルに今後要求される特性, 機能
〔電力〕
(水力発電機器の劣化評価調査専門委員会)

1. 水力発電機器の劣化診断技術および評価手法
(電力系統の需給制御技術調査専門委員会)

1. 需給制御技術の現状と将来動向
(直流送電適用技術調査専門委員会)

1. 直流送電の適用技術
(山岳地送電線の着氷現象調査専門委員会)

1. 送電線耐着氷設計における合理的設計手法
(ケーブル系統におけるサージ現象調査専門委員会)

1. ケーブル系統におけるサージ現象の調査・解析と合理的な保護対策の評価
(変電機器劣化試験法調査専門委員会)

1. 環境・劣化試験法の現状調査, 体系化と最適試験法
〔高電圧〕
(サージに対する絶縁協調調査

専門委員会)

1. 雷サージに対する電力系統の絶縁協調
(高電圧交流・直流電圧基準調査専門委員会)

1. 交流・直流の高電圧計測の精度の調査, 高電圧基準の明確
(碍子汚損特性影響要因調査専門委員会)

1. 汚損耐電圧の評価と, これの汚損設計法に適用する諸問題
(雷観測調査専門委員会)

1. 雷観測における効果的観測手法およびデータ解析手法
(大電流応用技術調査専門委員会)

1. 各種大電流の産業・技術開発・研究の各分野での応用
〔電子材料〕
(電子材料微視的評価技術調査専門委員会)

1. 電子材料の新しい微視的評価技術
(高品質バルク結晶成長技術調査専門委員会)

1. 高品質バルク結晶成長技術
(ワイドギャップ半導体材料調査専門委員会)

1. ワイドギャップ半導体材料の結晶成長・物性制御・応用技術
(超薄膜電子材料調査専門委員会)

1. 超薄膜電子材料の作製・評価技術, 基礎物性
〔電子デバイス〕
(高精度半導体デバイス調査専門委員会)

1. 高精度半導体デバイス
(ディスプレイデバイス材料調査専門委員会)

1. 電子ディスプレイデバイスと構成材料
(高機能電力用半導体デバイス

調査専門委員会)

1. 高機能電力用半導体デバイスの技術動向
(高密度メモリデバイス調査専門委員会)

1. 高密度メモリデバイスの動向
(マイクロ波・ミリ波デバイスとその応用調査専門委員会)

1. マイクロ波、ミリ波デバイスとそれらの応用
(光・量子デバイス)
(X線放射エネルギー技術調査専門委員会)

1. 強力X線源の開発およびその産業・科学への応用
(光センシングエレクトロニクス調査専門委員会)

1. 光センシングおよび関連画像処理技術
(光集積デバイスの材料・作製技術調査専門委員会)

1. 光集積デバイスのための材料・作製技術
(高機能レーザー技術調査専門委員会)

1. 高機能化を指向したレーザー技術の動向
(電子回路)
(精密周波数処理回路調査専門委員会)

1. 精密周波数処理
(電子回路の機能対応設計技術調査専門委員会)

1. 電子回路の機能に対応した設計技術
(システム・制御)
(知識工学応用システム調査専門委員会)

1. 知識工学のシステムと応用
(デジタル制御システムアーキテクチャ調査専門委員会)

1. デジタル制御システムアーキテクチャの現状と将来
(シミュレーション技術体系化調査専門委員会)

1. シミュレーション技術の現状と将来展望の把握、体系化
(情報処理)
(情報処理システム(電子制御システム)の保守技術調査専門委員会)

1. 情報処理システムの保守技術の現状、問題点
(電力系統のエキスパートシステム調査専門委員会)

1. 電力系統におけるエキスパートシステムの動向分析・将来展望
(目視検査の自動化調査専門委員会)

1. 画像処理技術による各種目視検査の自動化
(通信)
(電力用デジタル通信網監視調査専門委員会)

1. 電力用デジタル通信網監視制御方式
(情報認識)
(集積化センサ調査専門委員会)

1. 集積化センサに関する新しい技術動向
(センサシステム調査専門委員会)

1. センサシステム構築手法
(交通・電気鉄道)
(鉄道車両用交流主電動機調査専門委員会)

1. インバータ駆動鉄道用交流主電動機の特性格と設計法
(電気鉄道インテリジェント化調査専門委員会)

1. 電気鉄道の各システムのインテリジェント化
(道路交通技術小委員会)

1. 道路交通に関連する電気技術全般の動向
(金属産業)
(製鉄工業における産業用ロボットの適用調査専門委員会)

1. 製鉄工業における産業用ロボットの適用
(制御理論の産業応用調査専門委員会)

1. 金属産業における制御理論の応用
(メンテナンスニューテクノロジー調査専門委員会)

1. メンテナンスニューテクノロジーの現状と将来動向
(一般産業)
(非常用電気設備の点検システム調査専門委員会)

1. 非常用電気設備の保守上の問題点とその対応策
(電気設備診断・更新技術調査専門委員会)

1. 電気設備の長寿命化に関する診断・更新技術
(産業におけるユーティリティ管理技術調査専門委員会)

1. ユーティリティ管理運用技術の現状と動向
(プロセス産業技術小委員会)

1. プロセス産業技術に固有の技術課題の調査・分析
(公共技術小委員会)

1. 公共事業分野における応用技術の調査・研究
(製造電設技術小委員会)

1. 製造・電設分野固有の技術課題の調査・研究
(回転機)
(直流機等価整流試験調査専門委員会)

1. 直流機等価整流試験法
(精密小形電動機調査専門委員会)

1. 小形モータの現状調査と標準化
(誘導電動機の特性格試験法調査専門委員会)

1. 誘導電動機の簡便かつ間接的な特性格研究法
(回転機の電磁界数値解析法応用調査専門委員会)

- 1. 回転機に対する電磁界数値解析技術の応用
(同期電動機始動特性調査専門委員会)
- 1. 同期電動機の始動特性
〔半導体電力変換〕
(高性能半導体電力変換方式調査専門委員会)
- 1. 半導体電力変換方式の高性能化
(新形パワーデバイス応用電源システム技術調査専門委員会)
- 1. 新形パワーデバイス応用の各種電源システム技術
(無停電電源装置調査専門委員会)
- 1. 無停電電源装置 (UPS) の技術動向
〔産業電力電気応用〕
(産業用 AC ドライブシステム技術調査専門委員会)
- 1. 産業用 AC ドライブシステム技術の現状と動向
(自動化工場におけるネットワークシステム調査専門委員会)
- 1. FA 化に伴う PC を中心としたネットワーク技術
(無人化工場における自動化技術調査専門委員会)
- 1. 無人化工場における自動化技術
(インテリジェントビルの電気設備調査専門委員会)
- 1. インテリジェントビルの電気設備の今後の動向
(現代制御理論の産業電力電気分野への応用動向調査専門委員会)
- 1. 現代制御理論の産業電力電気分野への応用の動向
(レーザ加工装置の新適用分野調査専門委員会)
- 1. 加工用レーザの新技术の動向と新分野への適用の現状
(家庭内電力利用調査専門委員会)

- 1. 家庭内電力の新しい利用機器・システムの実態調査・技術動向
(産業電力応用小委員会)
- 1. 産業応用分野における設備、装置への新しい技術の採用動向
〔生産設備管理〕
(電気安全信頼性の数量計測調査専門委員会)
- 1. 電気システムにおける安全性・信頼性の数量計測
(プラント設備におけるライフサイクルコスト最適化技術調査専門委員会)
- 1. プラント設備におけるライフサイクルコストの実態調査と最適化技術
(生産設備診断技術の体系化と AI 応用調査専門委員会)
- 1. 生産設備診断技術の信頼性・安全性の技法および人工知能等を活用した方法の体系化
〔産業計測制御〕
(産業システムにおけるサーボ技術調査専門委員会)
- 1. 産業システムにおけるサーボ技術の動向
(産業における非接触計測調査専門委員会)
- 1. 非接触計測の現状と今後の動向
(産業用高信頼性制御システム技術調査専門委員会)
- 1. 産業用の機器、装置の高信頼性制御システム技術
(デジタル制御の産業応用調査専門委員会)
- 1. デジタル制御の産業応用時におけるロバスト性
〔産業システム情報化〕
(CIM 調査専門委員会)
- 1. コンピュータによる統合生産管理システム
(EWS 調査専門委員会)

- 1. EWS の産業応用と技術的課題、将来方向
〔リニアドライブ〕
(リニア電磁駆動システム調査専門委員会)
- 1. リニア電磁駆動システムの現状と評価法

5. 研究会

昭和 62 年度における研究会の開催回数、発表論文数および資料予約者数は次のとおりである。

研究会	開催回数	発表論文数	資料予約者数
教育・研究	4	62	90
電磁界理論	7	158	198
プラズマ	5	79	142
回路とシステム	11	262	—
電気音響	12	102	—
環境電磁工学	10	94	—
放電	9	156	277
光応用・視覚	3	16	170
計測	9	57	217
絶縁材料	12	156	333
金属材料	1	3	143
マグネティックス	13	234	316
静止器	4	65	204
開閉保護装置	6	38	147
新・省エネルギー	2	34	199
原子力	1	6	87
電線・ケーブル	1	6	129
電力技術	2	178	211
高電圧	5	74	217
電子材料	5	37	168
電子デバイス	7	85	188
光・量子デバイス	6	77	200
電子回路	4	29	130
システム・制御	2	11	249
情報処理	1	12	199
通信	5	73	96
センサ技術	1	5	184
医用・生体工学	1	8	79
交通・電気鉄道	4	38	116
金属産業	3	17	52
一般産業	1	5	59
回転機	6	86	293
半導体電力変換	5	62	342
産業電力電気応用	2	11	217
生産設備管理	1	5	85
産業計測制御	3	22	152
産業システム情報化	2	10	128
リニアドライブ	—	—	81
合計	176	2,373	6,098

6. 技術委員会主催による公開技術会合

昭和62年度に本会の技術委員会主催で開催された公開技術会合は次の通りである。

- (1) 第20回電気絶縁材料シンポジウム(9月29日～30日,名古屋)
- (2) 第17回誘電・絶縁材料に関する若手セミナー(10月5～7日,静岡県)
- (3) 第17回EMシンポジウム(3月18日,東京)

19. 通信教育会

1. 概要

通信教育事業については,大学講座・高校講座および技術講座の入学人数は734名(うち技術講座入学人数49名)で計画予想を上回った。

図書出版事業については,販売部数は88,776部であった。今年度4点10,000部の初版図書を刊行した。

2. 通信教育事業概況

受講生概況:当年度内新入受講生は,大学講座523名,高校講座162名,技術講座「自動制御」課程22名、「情報処理」課程13名,「電子回路」課程14名であって,修了・中退者を差引いた期末在籍者数は,大学講座3,199名,高校講座1,863名,技術講座162名である。

課程別内訳:次のとおり。

講座別受講者内訳

	講座名	入学	修了	中退	受講者数
大学講座	電気理論	197	21	2	1,734
	電気計測	49	15	1	382
	電気機器	172	68	1	522
	発送配電	67	32	0	383
	電気応用	38	22	0	178
	小計	523	158	4	3,199
	電気理論	57	11	0	796
	電気計測				

高校講座	電気機器	23	5	0	144
	発送配電	8	0	10	8
	電気法規				
	電気応用	5	0	10	5
	電気材料	21	2	0	395
	自動制御				
技術講座	電子工学	48	3	0	515
	電気数学				
	小計	162	21	20	1,863
	自動制御	22	6	0	71
	情報処理	13	1	0	67
	電子回路	14	2	0	24
	小計	49	9	0	162
	合計	734	188	24	5,224

3. 図書出版事業概況

(1) 図書の出版

i. 一般図書

初版	4点	10,000部
重版	71点	73,561部
合計	75点	83,561部

ii. 高校向教科書

1点	1,415部
----	--------

(2) 初版図書

1. 電気機器工学(改)
2. 電機システム制御
3. 電気磁器学基礎論
4. 送電・配電

合計	10,000部
----	---------

(3) 重版図書

(書名) (版)

1. 電気磁気学(第2次改訂版)(12)
2. 電気磁気学演習(10)(11)
3. 電気回路論(改訂版)(35)
4. 電気回路演習(2)(3)
5. 電気電子基礎数学(6)(7)
6. 基本電子回路(3)(4)
7. 回路理論基礎(2)(3)
8. 基礎電子工学(改)(12)
9. 電気工学概論(7)(8)
10. 電気測定法(15)
11. 電気計測基礎(7)(8)
12. 電気応用計測(改訂版)(17)
13. 基礎原子力工学(3)
14. 電気機器工学II(32)
15. 電機設計概論(第3次改)(30)(31)
16. 送電工学(37)
17. エネルギー工学概論(10)
18. 電気施設管理と法規解説(2)
19. 電気化学(7)
20. 火力発電(改)(3)
21. 電気材料(修・増)(53)
22. 電子材料工学(3)(4)
23. 高電圧工学(第2次)(7)(8)
24. 電熱工学(4)
25. 電動力応用工学(15)
26. 照明工学(12)(13)

27. 自動制御理論(19)
28. 電気実験(基礎・計測)(25)(26)
29. 電気実験(機器・電力)(24)
30. トランジスタ(38)
31. 電気計算機(13)
32. 基礎電磁工学(34)
33. 交流理論(36)(37)
34. 回路網理論(25)
35. 電磁気計測(改訂版)(12)
36. 電気機械工学(4)(5)
37. 電気機器設計(2次改)(15)(16)
38. 工業計測(14)
39. 発変電工学(24)(25)
40. 送配電工学(12)(13)
41. 電気応用(改訂版)(6)(7)
42. 電気数学I(8)
43. 電気数学II(7)
44. 電算機の原理と構造(改)(11)
45. 電気理論I(13)
46. 電気電子工学要説(上)(2)
47. 電気電子工学要説(下)(2)
48. 基本電子回路(4)
49. 電気機器学(3)
50. 保護継電工学(3)
51. 電子回路学(2)
52. 半導体電力変換回路(3)
53. 光と画像の基礎工学(2)

一般図書	合計	73,561部
------	----	---------

1. 電子計算機	
検定教科書	計 1,415部

4. 庶務概況

- (1) 本期間における諸会合数

理事会	6回
改善委員会	3回
編修委員会	3回
指導委員会	1回
編修関係会合	21回

(2) 委員会の活動状況

通信教育会の運営の働全化をはかるための改善委員会において引続き・短期中長期の対策を検討した。短期対策として図書のセット販売を実施した。中長期対策については引続き検討を行なう予定である。指導委員会は,文部大臣表彰候補者及び電気学会会長表彰者の選定と推薦を行った。

また,学習資料を通して関連国家試験問題の解析等を受講者に対し紹介した。

添削・質疑応答も大学講座1,710件,高校講座499件,技術講座43件に及んでいる。また,

62年6月には別掲文部大臣および学会会長表彰者の表彰祝賀会を行った。

20. その他

(1) 昭和63年度科学研究費審査委員候補者推薦委員会委員の推薦を行った。

他に関係学術団体との共催・協賛・後援を行った。

21. 役員改選報告

会 長：山中千代衛

副 会 長：西 政隆

同 成松啓二

総務理事：岸田公治

会計理事：三木義照

編修理事：芹澤康夫

同 一原嘉昭

調査理事：依田文吉

監 事：内田準二

の諸君が昭和63年5月の通常総会で任期満了となるので、改選の結果次の諸君が当選した。

会 長：松岡 實(新エネ機構)

副 会 長：三井恒夫(東電)

同 長沢和夫(中部電)

総務理事：川本幸雄(日立)

会計理事：古谷昭雄(三菱電機)

編修理事：片岡昭雄(東工大)

同 藤木 茂(古河電工)

調査理事：鬼頭幸生(名大)

監 事：上妻一朗(明電舎)

投票総数8,516通で、投票率は39%であった。

支部役員改選結果 支部役員半数の改選結果、次の諸君が当選した(○印は本部評議員兼任者、*印は支部長推薦の支部評議員、△印は支所長)。

(1) 東京支部

支 部 長 河野照哉 (東 大)

庶務幹事 宮田明則 (東 電)

会計幹事 吉田幸雄 (電 中 研)

評 議 員 荒川文生 (電 発)

同 ○稲葉次紀 (電中研)

同

○臼田誠次郎 (東 電)

同 小野幹幸 (藤倉電線)

同 ○大島壽之 (東 芝)

同 児玉孝亮 (富士電機)

同

○清水良之輔 (三菱電機)

同

田所睦雄 (東京電機大)

同 ○深尾 正 (東 工 大)

同 船橋誠寿 (日 立)

同 喜多村博 (新 潟 大)

(2) 関西支部

支 部 長 久保宇市 (近畿大)

庶務幹事 馬場鉄一 (近畿大)

会計幹事 花登庄平 (関 電)

評 議 員 伊佐 弘 (大阪工大)

同 ○石川本雄 (京 大)

同 ○奥村哲郎 (住友電工)

同 ○渋谷義一 (三菱電機)

同 田中恒久 (大阪電大)

同 塚本一義 (三洋電機)

同 中西恒彦 (立命館大)

同 中山博史 (姫路工大)

同 松岡芳文 (松下産機)

同 *山地哲史 (JR 西日本)

同 *脇 博一 (京阪電鉄)

(3) 九州支部

支 部 長 前波 武 (安川電機)

庶務幹事 山崎二郎 (九工大)

会計幹事 小林次郎 (九 電)

評 議 員 生野浩正 (熊本大)

同 *上田降三 (九工大)

同 ○江藤憲昭 (三菱電機)

同 小山 純 (長崎大)

同 川崎順一 (新日鉄)

同 中村政俊 (佐賀大)

同 ○渡辺征夫 (九 大)

(4) 東北支部

支 部 長 安達三郎 (東北大)

庶務幹事 鈴木光政 (東北大)

会計幹事 手塚 秀 (東北電)

評 議 員 伊藤 淳 (福島高専)

同 大野康二 (東北工大)

同 加茂芳郎 (東北学院大)

同 ○ *曾根敏夫 (東北大)

同 松崎登喜雄 (日大)

同 ○八島章一 (東北電)

同 山田 弘 (岩手大)

(5) 東海支部

支 部 長 田中三男 (中部電)

庶務幹事 森田慎三 (名 大)

会計幹事 藤原 修 (名工大)

評 議 員 落合 毅 (トヨタ自)

同 加藤英昭 (日本電装)

同 小嶋憲三 (愛知工大)

同 ○佐竹幸雄 (三菱電機)

同 島原 稔 (東 芝)

同 清水宏晏 (岐 阜 大)

同 *須藤憲洋 (日本車輛)

同 萩野 實 (静岡大)

同 ○日比野倫夫 (名大)

同 *山田 一 (信州大)

(6) 中国支部

支 部 長 井上幸夫 (中国電)

庶務幹事 喜多 弘 (中国電)

会計幹事 松岡広二 (中国電)

評 議 員

同 神田敏正 (中国電気工事)

同 齊藤皓彦 (鳥 取 大)

同 ○奈良宏一 (広 島 大)

同 橋口清人 (米子高専)

同 ○村田弘志 (広島工大)

(7) 北海道支部

支 部 長 田頭博昭 (北 大)

庶務幹事 福田昭治 (北 大)

会計幹事 西谷健一 (北 大)

評 議 員 小田島晟 (道 工 大)

同 近藤 修 (室蘭工大)

同 笹島春己 (釧路高専)

同 *鷹嘴克夫 (JR 北海道)

同 吉中弘介 (札幌市役所)

(8) 北陸支部

支 部 長 饗庭 貢 (金沢工大)

庶務幹事 久和 進 (北陸電力)

会計幹事 花岡良一 (金沢工大)

評 議 員 池尻忠夫 (福井大)

同 高橋 進 (関 電)

同 田辺孝一 (福井工大)

同 *角谷隆道 (北陸電力)
同 別所一夫 (金沢大)
同 前田 勉 (石川高専)
(9) 四国支部
支 部 長水口 一 (四国電力)

庶務幹事木谷 勇 (愛媛大)
会計幹事加宅田恵 (四国電)
評 議 員
*有吉 弘 (愛媛大)
同 ○ 村滋宏 (愛媛大)

同 小濱 越 (四国電)
同 鈴木茂行 (徳島大)
同 久持 信 (住友共電)
同 森川鋭一 (阿南高専)



昭和 62 年度 会計報告

(昭和 62 年 4 月 1 日より昭和 63 年 3 月 31 日まで)

〔1〕公益会計 収益会計収支計算書

収入の部

(斜体数字は項目の内訳) (単位: 円)

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
会 費 収 入	82,740,577	154,304,260	237,044,837
正 員 会 費	24,324,037	137,836,210	162,160,247
准 員 会 費	0	3,897,250	3,897,250
学 生 員 会 費	0	970,800	970,800
入 会 金	698,800	0	698,800
終身会費取くずし金	0	193,040	193,040
維 持 員 会 費	57,717,740	11,406,960	69,124,700
雑 誌 ・ 論 文 誌 収 入	0	99,603,934	99,603,934
頒 布 収 入	0	52,582,784	52,582,784
広 告 収 入	0	47,021,150	47,021,150
新刊ハンドブック収入	0	181,618,200	181,618,200
図 書 収 入	0	31,133,390	31,133,390
調 査 収 入	71,029,643	0	71,029,643
雑 収 入	1,252,736	1,905,528	3,158,264
利 子 収 入	16,924,747	0	16,924,747
補 助 金	2,700,000	0	2,700,000
資 金 利 子 繰 入 金	1,500,000	0	1,500,000
特 別 会 計 繰 入 金	4,270,000	2,500,000	6,770,000
合 計	180,417,703	471,065,312	651,483,015

支出の部

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
事 務 所 費	8,392,856	21,581,630	29,974,486
事 務 費	8,949,551	23,013,132	31,962,683
人 件 費	60,124,205	80,393,735	140,517,940
諸 会 費	424,580	0	424,580
支 部 費	16,705,740	0	16,705,740
賞 金 費	4,650,888	0	4,650,888
電 気 規 格 調 査 会 費	12,128,291	0	12,128,291
調 査 研 究 委 員 会 費	69,282,100	0	69,282,100
連 合 調 査 費	674,600	0	674,600
雑 誌 ・ 論 文 誌 出 版 費	0	174,890,644	174,890,644
新刊ハンドブック出版費	0	146,324,698	146,324,698
図 書 出 版 費	0	25,531,799	25,531,799
合 計	181,332,811	471,735,638	653,068,449
収 支 差 額	-915,108	-670,326	-1,585,434

註) 図書出版費 期首商品 (17,108,848) + 当期出版費 (244,230,906) - 期末商品 (89,483,257)
= 出版原価 (171,856,497)

〔2〕公益会計損失金処分(案)

当期損失金	△ 915,108
特別積立金取崩	915,108
	0

〔3〕収益会計損失金処分(案)

当期損失金	△ 670,326
前期繰越損失金	△ 9,159,375
次期繰越損失金	△ 9,820,701

〔4〕受託会計勘定

種 別	繰 越 金	当 期 受 入	当 期 支 出	次 年 度 繰 越 金
電気学会東京支部	2,094,929	7,263,740	7,096,313	2,262,356
電気・情報関連学会連合大会	663,532	115,115	211,646	567,001
電蝕防止研究(委)	168,077	3,549,500	2,921,111	796,466
誘導調査特別(委)	333,020	5,951,600	7,124,775	-840,155
日本シグレ国内(委)	6,892,982	18,560,000	20,040,109	5,412,873
調査特別(委)	9,780,597	8,159,531	6,362,548	11,577,580
合 計	19,933,137	43,599,486	43,756,502	19,776,121

〔5〕資金利子勘定

種 別	繰 越 金	当 期 受 入	当 期 支 出	次 年 度 繰 越 金
(1) 賞金資金	1,062,257	639,484	980,000	721,741
(2) 日立資金	268,721	25,200	20,000	273,921
(3) 日本発送電資金	906,348	246,000	380,000	772,348
(4) 東北配電資金	143,203	49,200	60,000	132,403
(5) 九州配電資金	103,591	49,200	60,000	92,791
(6) 桜井資金	1,075,192	1,052,000	1,059,150	1,068,042
合 計	3,559,312	2,061,084	2,559,150	3,061,246

〔使途〕 (1)～(5) 賞金及び賞牌作成賞 (6) 電力関係国際会議出席費補助

〔 6 〕 貸借対照表
(昭和 63 年 3 月 31 日現在)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
科 目	公 益	収 益	計	科 目	公 益	収 益	計
流 動 資 産	158,718,911	211,711,007	370,429,918	流 動 負 債	217,176,711	145,664,462	362,841,173
現 金	308,182	0	308,182	未 払 金	656,316	144,830,343	145,486,659
銀行預金	112,841,782	0	112,841,782	前 受 金	146,120,018	0	146,120,018
郵便振替	5,147,246	0	5,147,246	仮 受 金	44,608,342	0	44,608,342
未 収 金	8,960,000	121,430,750	130,390,750	預 り 金	2,954,668	0	2,954,668
商 品	0	90,280,257	90,280,257	受託会計勘定	19,776,121	0	19,776,121
仮 払 金	31,461,701	0	31,461,701	資金利子勘定	3,061,246	0	3,061,246
有形固定資産	442,475	0	442,475	法人税等充当金	0	834,119	834,119
備 品	442,475	0	442,475	固 定 負 債	125,385,100	27,501,200	152,886,300
その他の固 定資産	296,112,075	0	296,112,075	退職引当金	0	27,501,200	27,501,200
信託預金	193,890,000	0	193,890,000	職員退職引当金	121,385,100	0	121,385,100
有価証券	77,703,415	0	77,703,415	名簿引当金	4,000,000	0	4,000,000
敷 金	14,818,660	0	14,818,660	基 金	63,665,657	2,854,152	66,519,809
貸 付 金	9,700,000	0	9,700,000	基本財産	180,150	0	180,150
				収益勘定元入金	0	2,854,152	2,854,152
				賞金資金	13,060,000	0	13,060,000
				寄付金	17,212,165	0	17,212,165
				固定資産特別 資金	23,795,480	0	23,795,480
				図書購入特別 資金	9,417,862	0	9,417,862
				剰 余 金	94,566,887	△9,829,701	84,737,186
				特別積立金	95,481,995	0	95,481,995
				前期繰越 損失金	0	△9,159,375	△9,159,375
				当期損失金	△ 915,108	△ 670,326	△1,585,434
収 益 勘 定	45,520,894	0	45,520,894	公 益 勘 定	0	45,520,894	45,520,894
合 計	500,794,355	211,711,007	712,505,362	合 計	500,794,355	211,711,007	712,505,362

〔7〕通信教育特別会計

収 支 明 細

(昭和62年4月1日より昭和63年3月31日まで)

収 入 の 部

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
1. 講 座 収 入	11,127,380	0	11,127,380
2. 図 書 頒 布 収 入	0	138,524,524	138,524,524
3. 受 取 利 息	1,780	22,145	23,925
4. 雑 収 入	509,278	5,586,712	6,095,990
5. 引 当 金 等 戻 入	1,935,309	29,992,991	31,928,300
合 計	13,573,747	174,126,372	187,700,119

支 出 の 部

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
1. 教 務 費	2,939,988	0	2,939,988
2. 出 版 原 価	0	75,911,007	75,911,007
3. 販 売 直 接 費	0	7,125,840	7,125,840
4. 人 件 費	6,937,858	71,543,505	78,481,363
5. 事 務 費	973,041	4,717,049	5,690,090
6. 事 務 所 費	602,482	7,495,392	8,097,874
7. 調 査 宣 伝 費	1,255,584	2,222,758	3,478,342
8. 繰 入 金 支 出	0	500,000	500,000
9. 減 価 償 却 費	2,410	29,986	32,396
10. 退 職 給 与 引 当 金 繰 入	—	1,763,771	1,763,771
11. 賞 与 引 当 金 繰 入	—	2,800,000	2,800,000
合 計	12,711,363	174,109,308	186,820,671
収 支 差 額	862,384	17,064	879,448

注：図書出版原価 期首棚卸高＋当期出版費－期末棚卸高＝出版原価

$$66,267,042 + 68,114,580 - 58,470,615 = 75,911,007$$

◇ 公益会計利益金処分

当期利益金 862,384

次期に繰越します

◇ 収益会計利益金処分

当期利益金 17,064

次期に繰越します

貸借対照表

(昭和63年3月31日現在)

資 産 の 部				負 債・資 本 の 部			
科 目	公 益	収 益	計	科 目	公 益	収 益	計
流動資産	2,881,651	111,812,604	114,694,255	流動負債	94,684	45,440,437	45,535,121
現金	0	19,199	19,199	未払金	0	42,908,039	42,908,039
普通預金	2,525,741	566,191	3,091,932	預り金	94,684	996,398	1,091,082
当座預金	0	3,453,066	3,453,066	仮受金	0	1,536,000	1,536,000
振替貯金	355,910	101,725	457,635				
有価証券	0	311,319	311,319	固定負債	0	11,463,771	11,463,771
売掛金	0	48,817,534	48,817,534	退職引当金	0	1,763,771	1,763,771
未収入金	0	65,090	65,090	長期借入金	0	9,700,000	9,700,000
商品	0	57,954,015	57,954,015				
原材料	0	516,600	516,600	引当金	0	2800,000	2,800,000
仮払金	0	7,865	7,865	賞与引当金	0	2,800,000	2,800,000
固定資産	357,054	4,280,000	4,637,054	正味財産	4,062,711	55,469,706	59,532,417
建物設備	248,054	0	248,054	基本金	1,000,000	5,000,000	6,000,000
敷金	0	4,280,000	4,280,000	別途積立金	0	50,500,000	50,500,000
電話加入権	109,000	0	109,000	退職積立金	7,842,221	541,383	8,383,604
				奨学積立金	2,000,000	0	2,000,000
				繰越利益金	△7,641,894	△ 588,741	△8,230,635
				当期利益金	862,384	17,064	879,448
収益勘定	918,690	0	918,690	公益勘定	0	918,690	918,690
合計	4,157,395	116,092,604	120,249,999	合計	4,157,395	116,092,604	120,249,999